

2020年5月20日

 お部屋さがしは
いい部屋ネット
「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2019〈総評レポート〉」発表
住みこちが良いのは、生活利便性と住環境が両立している場所！
街の住みこちと人口増加には高い相関関係が！

大東建託リーシング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:守義浩)のグループ会社、大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:小林克満)は、居住満足度調査として過去最大級の街ランキング「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2019〈総評レポート〉」をまとめました。

本ランキングは、全国1,896自治体居住の20歳以上の男女184,193名を対象に居住満足度を調査したもので、2019年2月発表の「首都圏版」を皮切りに、約1年にわたって全国各地のランキングを発表してきました。住みたい街に関する調査は数多く行われていますが、実際に住んでいる人々がその街に対してどのように感じているのかについては、大規模な調査はほとんど行われていません。当社は、人々が住まいを選ぶ時に、実際に住んでいる人たちの評価を聞きたいというニーズがあり、そうした情報を提供することが人々のより幸福な住生活に繋がると考え、本調査を実施することとしました。

「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2019」のポイント
1. 住みこちが良いのは生活利便性と住環境が両立する場所

大都市の街(駅)では、住みたい街ランキングの上位にランクインする知名度の高い街よりも、ターミナル駅から少し離れた、静かな住環境と生活利便性が両立している街の住みこちが良い傾向があります。

(例)首都圏版TOP3の広尾駅(東京)・市ヶ谷駅(東京)・北山田駅(神奈川県)、関西版TOP2の夙川駅(兵庫)・南森町駅(大阪)、東海版トップの星ヶ丘駅(愛知)など

また、地方の街(駅・自治体)では、生活利便性が良い中心部と、近郊の新興住宅地の住みこちが良い傾向があります。

(例)福岡県版トップの六本松駅、宮城県版トップの勾当台公園駅、5位の長町駅、北海道版トップの西28丁目駅、3位の大森駅など

2. 地方では合併しなかった街と新興住宅地が高評価

地方の街(自治体)では、合併しなかった街の住みこちが良い傾向があります。

(例)石川県版トップの野々市市、宮城県版トップの富谷市、愛媛県版トップの松前町など

3. 住みこちと人口増加には、高い相関関係がある

住みこちの良さと人口増加には、明らかな相関関係があります。住みこちの良い街(自治体)では、住宅供給が盛んで、それが人口増加を支えている側面があると考えられます。一方、住みたい街の得票率と人口増加率の相関関係は比較的低くなっています。(次頁参照)

(例)全国版2位の東京都中央区、全国版4位の大阪府大阪市西区など



広尾駅(東京都港区/首都圏版1位)



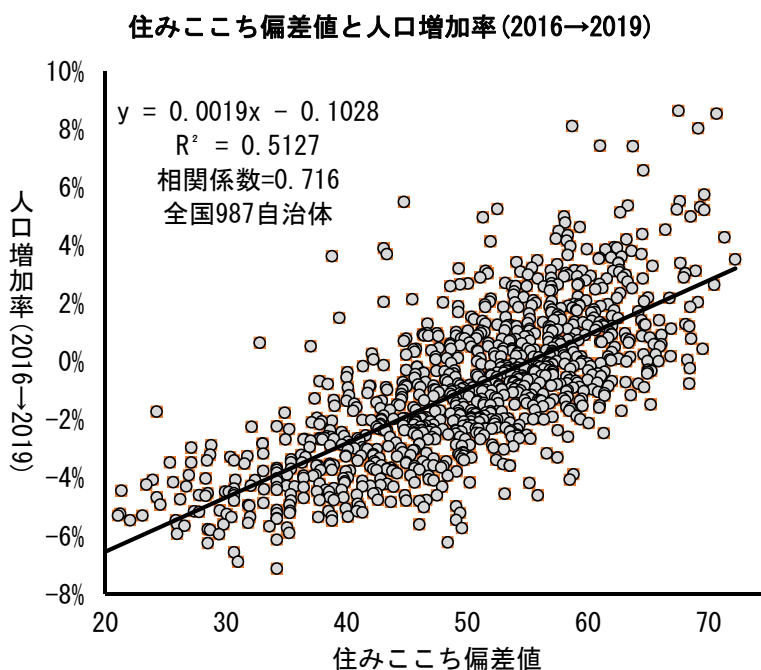
石川県野々市市(ふるさと版1位)



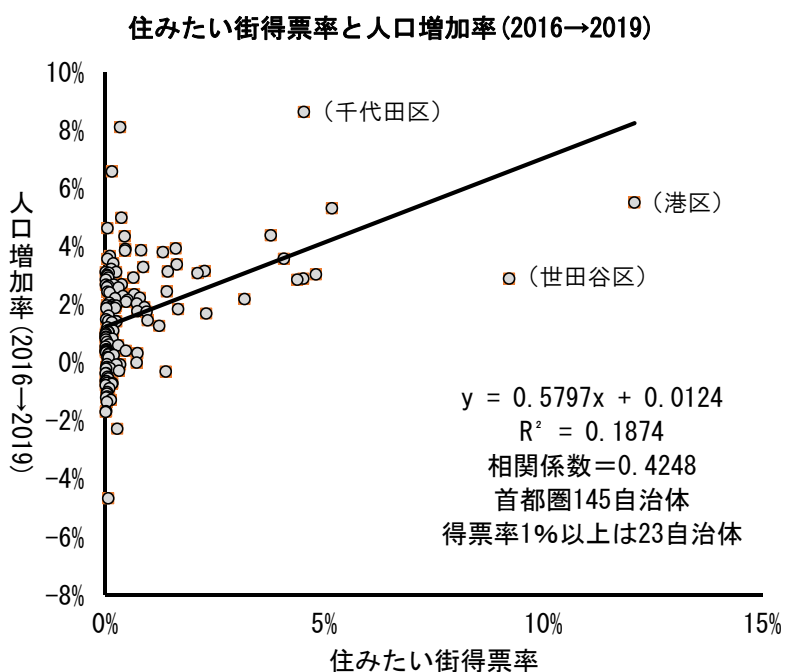
東京都中央区(全国版2位)

住みこちの良い街は、人口が増加している傾向にある

- 30名以上の回答が得られた全国987自治体の人口増加率と住みこちの偏差値を分析すると、高い相関関係が高いことがわかります。このことは、街の住みこちを向上させることで、人口増加につながる可能性があることを示唆しています。



- 首都圏145自治体の人口増加率と住みたい街(自治体)の得票率を分析すると、住みたい街は知名度の高い一部の街に得票が集中しており、人口増減率との相関関係はかなり低くなっています。全国には、まだまだ知られていない住みこちの良い街がたくさんあります。



■ 調査概要

- ◇調査方法 株式会社マクロミルの登録モニタに対してインターネット経由で調査票を配布・回収。本調査は「住みたい街」との統合調査となっています。
- ◇回答者 全国(47都道府県)の1,896自治体 ※居住の20歳以上の男女184,193名
 - [男女比] 男性49.6% : 女性50.4%
 - [未既婚] 未婚34.4% : 既婚65.6%
 - [子ども] なし 40.8% : あり 59.2%
 - [世代比] 20歳代11.8%、30歳代22.3%、40歳代26.8%、50歳代22.3%、60歳以上16.8%
- ◇調査期間 予備調査:2018年10月22日(月)~同23日(火)
本調査1 :2018年12月11日(火)~同19日(水)
本調査2 :2019年3月26日(火)~4月8日(月)
- ◇調査体制 調査企画・設問設計・分析:大東建託賃貸未来研究所 宗健(所長)
調査票配布回収 :株式会社マクロミル
- ◇回答方法 ランキングは現在居住している街について、「総合評価」の「全体としての現在の地域の評価」の平均値を集計して作成。「住みこち」に関する55項目の設問でも、大変満足:2 満足:1 どちらでもない:0 不満:-1 大変不満:-2を選択肢として、回答を取得。

■ 住みこちランキングについて

ランキングは、現在居住している街について、「全体としての現在の地域の評価」の回答を、大変満足:2 満足:1 どちらでもない:0 不満:-1 大変不満:-2として平均値を集計して作成しています。また、街の評価項目は総合評価を含む56項目の設問について回答を得ています。

■ 解説者プロフィール

宗 健 (そう たけし)



大東建託株式会社 賃貸未来研究所長・AI-DXラボ所長 ITストラテジスト・博士(社会学)筑波大学

1965年北九州市生まれ。1987年九州工業大学工学部卒業、株式会社リクルート入社。通信事業部、求人系インターネットサービス企画マネジャー、ForRent.jp編集長、ISIZE住宅情報編集長、R25式モバイル編集長などを経て、2006年株式会社リクルートフォレントインシュア代表取締役社長。2012年リクルート住まい研究所長。2018年7月より大東建託株式会社賃貸未来研究所長。2020年4月よりAI-DXラボ所長(兼担)。麗澤大学客員准教授・東京大学不動産情報科学研究室研究プロジェクト研究員。

《詳細データについて》

- 本調査は2019年度が第1回目となります。詳細につきましては、住みこちランキングWEBサイト(<https://www.kentaku.co.jp/sumicoco/>)大東建託株式会社「賃貸未来研究所」公式WEBサイト(<https://www.kentaku.co.jp/miraiiken/>)をご参照下さい。
- 本リリースの一部または全部を、個人的な利用を目的とする印字・保存等、その他著作権法で認められる場合を除き、著作物等を著作権者等の事前の許諾なしに、複製、公衆送信、頒布、改変、他のウェブサイトへ転載するなどの行為を禁止します。
- 新聞・雑誌、テレビ・ラジオ等の報道関係者におかれましては、本リリースを掲載・報道または引用する場合には、「いい部屋ネット 街の住みこちランキング2019<総評レポート>」と出所の表記をお願いします。
- 報道関係者向けに、本リリースの集計項目のほかに個別集計結果を提供できる可能性がありますので、個別にお問い合わせください。
- 本調査の対象となった自治体には、詳細データを提供可能ですので、個別にお問い合わせください。
- 学術研究目的の場合、本調査個票データについて提供できる可能性がありますので個別にお問い合わせください。

<報道関係者・自治体等 お問い合わせ先>

大東建託株式会社 広報部 メール:koho@kentaku.co.jp

※直通電話(03-6718-9174)は、2020年5月31日までの期間停止されております。